

就労継続支援A型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	株式会社イーパックスインクルージョン
住 所	岐阜市柳津町下佐波4丁目1番地
電話番号	058-214-7746

事業所番号	2110101538
管理者名	奥山 薫
対象年度	令和7年度

地域連携活動の概要

<p><活動内容></p> <p>活動場所 岐阜市茜部菱野4-66-4 実施日程 令和7年4月～令和8年3月 実施した生産活動・施設外就労の概要：アパレル製品の採寸、検数、検品、バーコードシール貼り、値札付け等の作業を、各工程ごとにグループ分けし、職員と連携しながら役割分担のもと実施 利用者数等：令和7年度は平均約17人/日、延べ4556人の利用者数</p>	<p><活動の様子></p> 
<p><目的></p> <p>地域連携活動のねらい：岐阜市茜部地域における労働者の高齢化に対し、安定的な労働力の確保という課題の解消に寄与する。 地域にとってのメリット：働き手の確保により業務の安定化および安定した生産活動の維持に繋がる。 対象者にとってのメリット：一般企業と同様の作業工程に従事する事で、実践的な作業能力の向上および就労に必要なスキルの習得に繋がる。</p>	<p>【検数】依頼された商品の数量および内容に誤りがないか確認し、利用者による検数後、職員がダブルチェックを行うことで品質管理の徹底を図っている。</p>
<p><成果></p> <p>実施した結果：年度当初はコミュニケーションや障害特性への理解に時間を要したが、作業の継続により各利用者の特性に応じた役割分担が可能となり、作業を安定して進めることができた。 得られた成果：障害特性を踏まえた作業配置や工程分担を行うことで、作業効率の向上が見られた。また、一般企業と同様の作業工程を継続的に実施することで、利用者の作業スキルおよび集中力の向上に繋がった。 課題点：利用者への報告・連絡・相談の徹底が引き続き重要である。加えて、一般企業からの指示内容を分かりやすく伝達するための職員の支援力向上が今後も求められる。</p>	 <p>【採寸】利用者がメジャーを用いて製品の寸法を測定し、定められた基準に基づき確認および記録を行っている。職員が巡回しながら測定方法の確認や助言を行い、正確性の確保に努めている。</p>



連携先の企業等の意見または評価

<p>連携した結果に対する意見または評価：例年同様、安定して作業に従事いただくことで、継続的に業務を進めることができた点が高く評価できる。特に採寸作業においては、作業を重ねることで測定精度や作業スピードの向上が見られ、当初想定していた以上に安定した品質で業務を実施していただくことができた。</p>			
<p>今後の連携強化に向けた課題：今後も連携を継続していくにあたり、作業毎の注意点や基準の共有、報告・連絡・相談の徹底が重要である。また、採寸時の測定方法や記録に関する認識の統一を図ることで、作業ミスの防止およびさらなる品質向上に繋がると考えられるため、引き続き連携体制の強化を図っていきたい。</p>			
連携先企業名	株式会社イーパックスモード	担当者名	浅野 法清

労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告

事業所名	株式会社イーバックスインクルージョン	事業所番号	2110101538
住所	岐阜市柳津町下佐波4丁目1番地	管理者名	奥山 薫
電話番号	058-214-7746	対象年度	令和7年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<p><活動内容></p> <p>活動場所：岐阜市東鷲2丁目45</p> <p>実施日程：R8年3月19日</p> <p>実施した利用者の知識・能力向上に係る実施の概要：一般就労を見据え、ハンディ操作およびロケ箱の組み立て方法を指導し、実務に即した知識・技能の習得を図った。</p> <p>利用者数 等：6名</p>	<p><活動の様子></p>  <p>【ハンディの使用】バーコードの読み取りや計上漏れがないよう確認しながらハンディを使用した作業を実施した。</p>  <p>【ロケ箱の組み立て】箱が崩れないよう、入口や負荷のかかる箇所を補強しながら組み立てる作業を実施した。</p>
<p><目的></p> <p>利用者の知識・能力向上に係る実施のねらい：一般就労に向け、ハンディ端末の操作やロケ箱の組み立て作業を通じて、実務に即した知識および技能の習得を図る。</p> <p>利用者にとってのメリット：実際の業務に必要な操作や作業手順を身につけることで、作業精度や対応力の向上に繋がる。</p>	
<p><成果></p> <p>実施した結果：ハンディ端末の操作やロケ箱の組み立て作業について、手順を理解しながら実践することができた。</p> <p>得られた成果：操作方法や作業手順の習得により、作業精度や対応力の向上が見られた。</p> <p>課題点：操作ミスや作業手順のぼらつきが見られるため、継続した指導と手順の定着が必要である。</p>	

連携先の企業や事業所等の意見または評価

<p>連携した結果に対する意見または評価：ハンディ端末の操作やロケ箱の組み立て作業について、継続して取り組むことで作業の理解が進み、安定して業務を行うことができている。</p> <p>今後の連携強化に向けた課題：操作方法や作業手順のさらなる定着および、作業精度の向上に向けた継続的な指導が必要である。また、利用者ごとの習熟度に応じた支援の工夫も求められる。</p>	
連携先企業（担当者）	株式会社イーバックスモード（浅野 法清）

利用者からの意見・評価

<p>参加した利用者からの意見・評価：ハンディは最初は不安だったが、繰り返す事で慣れて落ち着いて取り組めるようになった。ロケ箱の組み立ても長く使えるよう補強の仕方を学ぶことが出来た。</p>
